BUFFALO

はじめにお読みください　～WLAR-L11～

本書は、製品の取り扱い方法や使用上の注意について説明しています。ご使用になる前に本書をよくお読みになり正しくお使いください。

① 特長

・CATV網を使用したインターネット接続が可能。（無線LANパソコンのみ）
・有線LANー無線LAN間の通信が可能。
・IEEE802.11bに準拠し、無線上で通信速度11Mbpsの通信が可能。
・従来製品の2Mbpsモデルと通信・接続が可能。
・屋内50m/屋外115m（見通し）までの通信が可能。
※ 11Mbps通信時は、屋内25m/屋外50m（見通し）
（ただし、スチール机やスチール棚などの金属製の物の近くや、電子レンジ・無線プリンタバッファの近くへの設置は、避けるようにしてください。また、遮断物の材質により通信距離が短くなり、通信速度が遅くなったり、通信ができなくなったりすることがあります。）
・ローミング機能に対応。
・ネットワーク負荷を軽減する多チャンネル(14ch)機能を搭載。
・MACアドレス登録機能／WEP(暗号化)によるセキュリティ機能搭載。
・アップル社製AirMac対応の無線カードを搭載したiBook,iMacDV,G4(AGPモデル)との相互通信に対応。
※ WindowsとMac間でのデータのやり取りには、それぞれのプロトコルを認識させるユーティリティソフトが別途必要です。Macにインストールする「DAVE」等をご利用ください。
※ 2MbpsモデルとAirMacは同時に使用できません。

本製品の設定に必要なOS
Windows98/95　Windows2000/NT4.0

メモ　本製品の設定には、以下のいずれかのブラウザが必要です。
Internet Explorer4.0以降
または
Netscape Navigator3.0以降

② パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

・エアステーション（WLAR-L11）.............１台
・ACアダプタ..............................１個
・AIRCONNECTシリーズドライバCD.............１枚
・はじめにお読みください
　～WLAR-L11～（本紙）.....................１枚
・インターネット接続マニュアル.............１冊
・リファレンスマニュアル...................１冊
・UTPストレートケーブル3m（カテゴリ5）.....１本
・ユーザー登録はがき・保証書...............１枚

※ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後､必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また､切り離した保証書は､大切に保管してください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

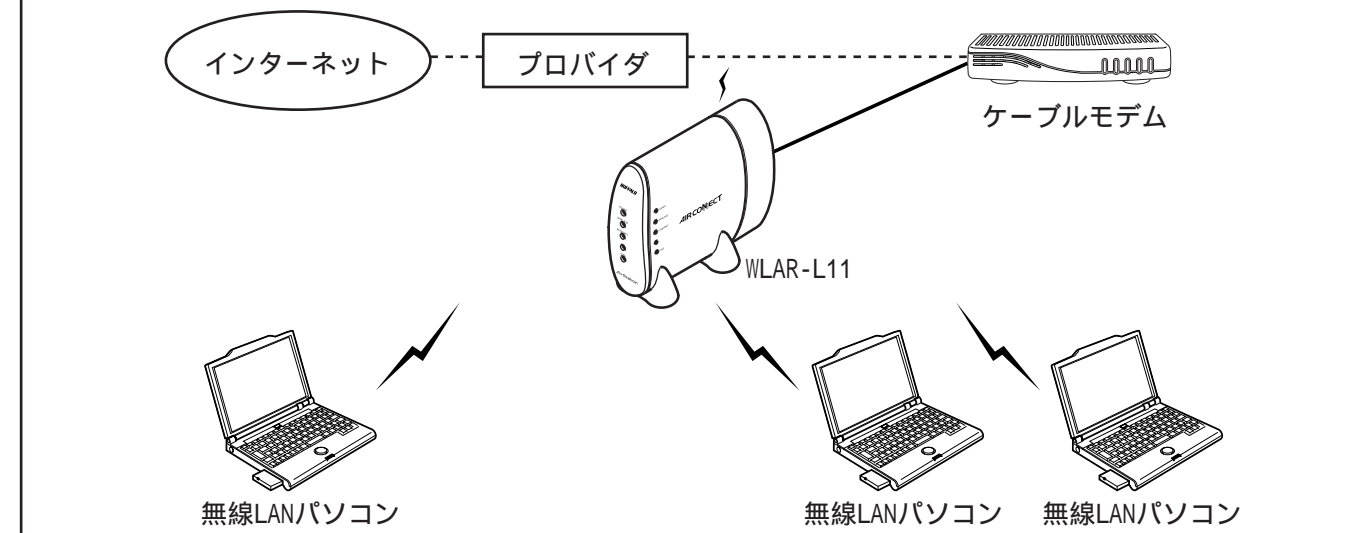
③ インターネットに接続する前に

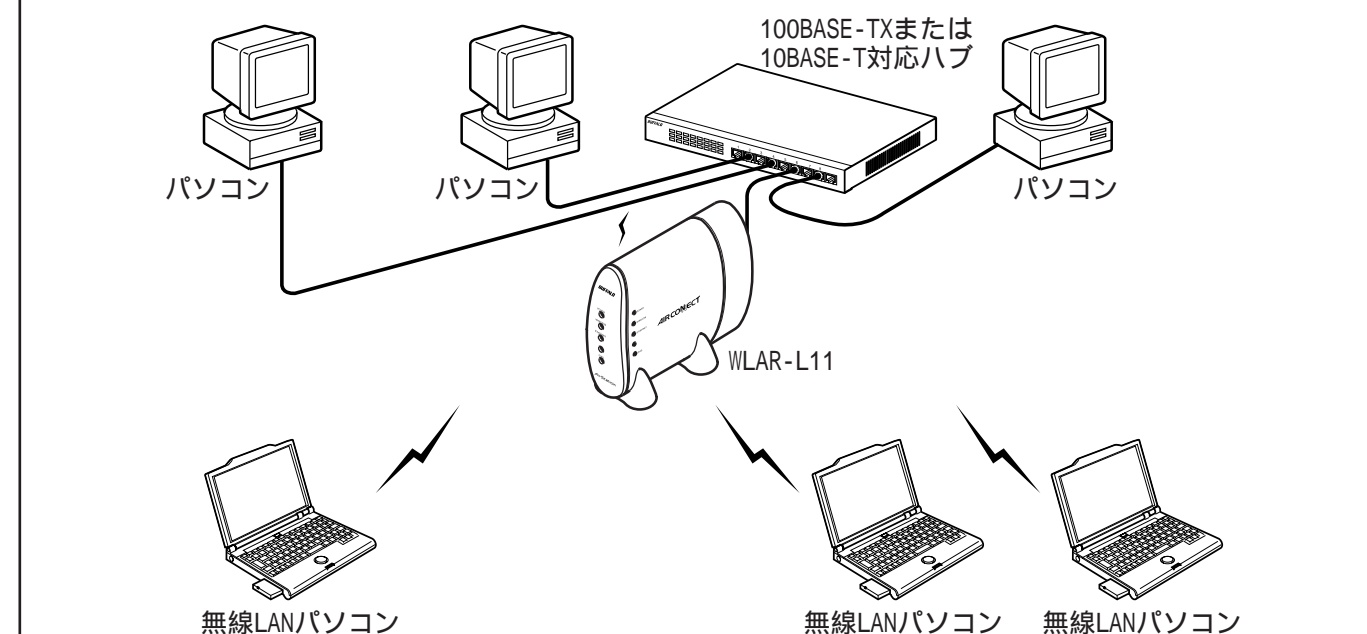
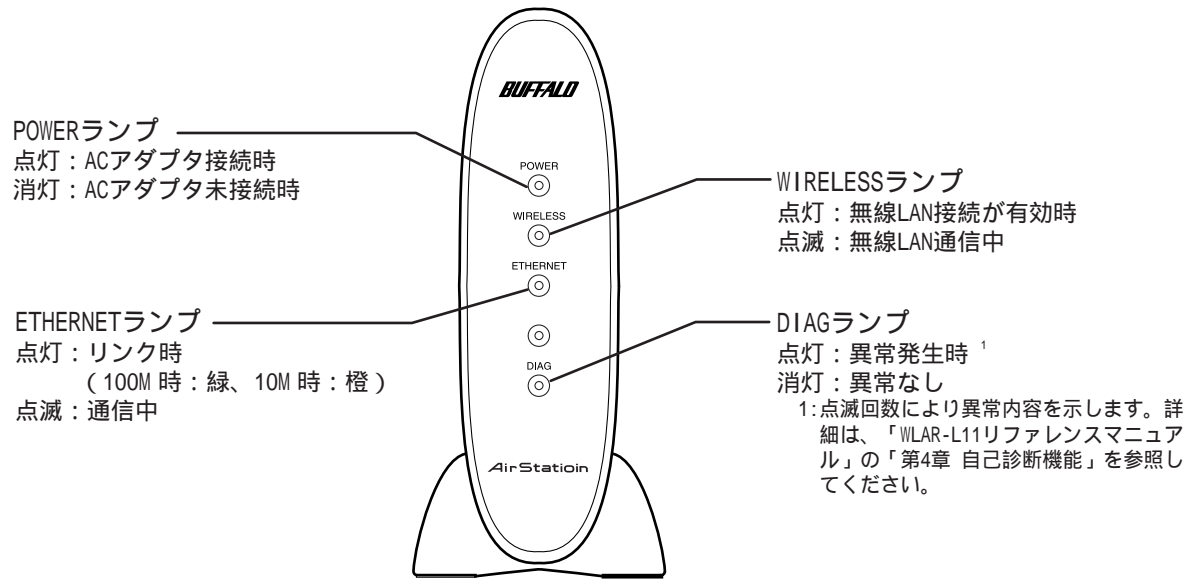
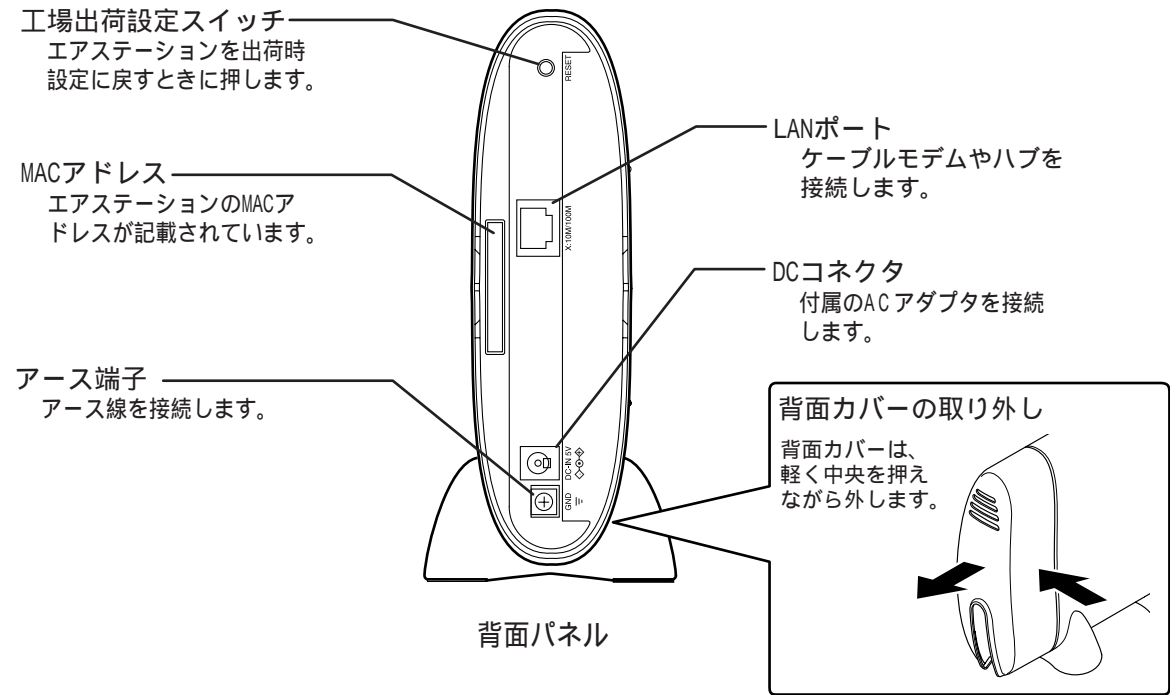
１．CATVプロバイダ会社との契約は完了していますか？
　　インターネットに接続する場合、CATVプロバイダ会社と契約する必要があります。
２．エアステーションの設定時に下記の情報が必要です。あらかじめ準備しておいてください。
　・IPアドレスの設定（プロバイダから自動的に取得するか手動で設定するのか）
　・エアステーションのMACアドレス※
　※MACアドレスの位置については、裏面の「各部の名称とはたらき」を参照してください。

④ ネットワークの構築

エアステーションには、以下の２つの使い方があります。目的に合った使い方を選択して、ネットワークを構築してください。

CATV網を使用してインターネットへ接続する

別冊「インターネット接続マニュアル」参照

有線LANー無線LAN間で通信をおこなう（CATV網を使用してインターネットへ接続しない場合）

別冊「リファレンスマニュアル」の「第１章 有線LANと無線LAN間で通信をおこなう」参照

⑤ 各部の名称とはたらき

前面パネル

背面パネル

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。お読みになった後は、必ずお手元に置き、常に参照できるようにしてください。なお、本書には、弊社製品だけでなく弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。また、製品のマニュアルと重複する内容も含まれています。

パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告、注意を促す記号です。△の中や近くに、具体的な警告内容が描かれています。(例：⚠感電注意)
⦸	⦸は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。⦸の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例：⦸分解禁止)
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。●の中や近くに、具体的な指示内容が描かれています。(例：プラグをコンセントから抜く)

⚠警告

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（柵）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、ＡＣコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

AC100V（50/60Hz）以外のＡＣコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制

ACアダプタは、ＡＣコンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、ＡＣコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

けがをする危険があります。

⚠注意

禁止

電源ケーブルがＡＣコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。

感電の原因となります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
- 静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- 震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- 平らでないところ（転倒したり、落下して、けがの原因となります）
- 直射日光が当るところ（故障や変形の原因となります）
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ（故障や変形の原因となります）
- 漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
- 漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）
  ※弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G）、他社製の無線プリンタバッファなど2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  ・本製品を分解/改造すること
  ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ・産業・科学・医療用機器
  ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  ①構内無線局（免許を要する無線局）　②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 本製品の無線チャンネルを出荷時設定以外に設定して使用する場合は、左記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。但し、本製品の周波数が出荷時設定（14チャンネル）の場合は、左記の機器と電波干渉をすることはありません。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

はじめにお読みください〜WLAR-L11〜　2000年6月23日　初版　発行　株式会社メルコ